

弘前観桜会 100 周年&記念物 100 年記念「70 年前の弘前城写真展」の開催について

1 目的

弘前城跡は、江戸時代に津軽氏の居城として栄え、廃藩置県以降は陸軍第八師団が設置され、大正 7 年（1918）には観桜会が開催されます。終戦後は、弘前大学や市営球場などの公共施設整備が進む中で、昭和 27 年（1952）にその価値が認められて国の史跡指定を受けることとなります。その後は、博物館などの前川建築が整備される一方で、昭和 40～50 年代には公共施設の城外移転が進むとともに、平成 13 年度からは北の郭の整備、平成 26 年度からは本丸石垣解体修理が行われるなど城郭遺構の修理や整備による保存と継承が図られ、今日、史跡指定から約 70 年が経過したもので、その様相は大きく変化しています。

本展は、約 70 年前の弘前城跡の史跡指定以前と現在の様子を対比して紹介する写真展で、弘前城の整備や歴史を学ぶ機会とするものです。

また、今年観桜会 100 周年を迎えるとともに、来年は記念物の包括的な保護措置が講じられて 100 年にあたる記念すべき年であり、弘前観桜会 100 周年と記念物 100 年記念事業の一環としても開催するものであります。

2 主催 弘前市教育委員会（主管：文化財課）

3 会場 旧第五十九銀行本店本館（青森銀行記念館）2階 大会議室

4 開催期間 平成 30 年 11 月 29 日（木）～翌年 5 月 12 日（日）

ただし、毎週火曜日と年末年始は休館。期間中の雪燈籠まつり・さくらまつり期間中は無休。

5 開催時間 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

ただし、期間中の雪燈籠まつり・さくらまつり期間中は午後 6 時まで。

6 入館料 旧第五十九銀行本店本館の入館料が必要

ただし、期間中の雪燈籠まつり期間中は無料。

7 内容 昭和 27 年の史跡指定以前に撮影された約 70 年前と同位置で撮影した現在の写真 2 枚を 1 セット、48 セットの 96 枚（予定）の写真と共に江戸時代や明治の絵図、昭和 27 年の市街図の一部も展示。

8 主な展示写真



三の丸を東奥義塾より撮影



西濠春陽橋から南側を撮影